山引連

平成12年 第3号

少年男子が関東代表権獲得

— 大逆転で みごと一位通過 —

ミニ国体

8月27日、ミニ国体（国体関東予選会）がいよいよ栃武道館で開催され、本県勢は各種別で健闘した結果、少年男子が一位で予選通過し、関東代表として、10月の富山国体に出場することが決定した。各種別の戦績は左表の通り。以下、各種別での本県勢の戦いぶりを記す。

少年男子（詳細は下表を参照）

（近的）6月関東大会制した本県男子は低調かと注目の的。しかし、そのプレッシャーに負けず、前半10中、合計20中と、まずまずの出来だったが、埼玉、茨城、22中、群馬21中と、他県チームの思わぬ好射で、結局、近的は意外な一位にすんじる。

（遠的）ここで実力をフルに発揮した前半に好射をかさねて他の追随をふりきりダントツの一位。続く後半も射形を乱すことなく、平成12年度の代表権を決定。

少年女子

（近的）本県勢快調にスタート。前半8中、2位と「いける」と思っていたが後半は点が伸びず苦しくなり結局4位に終わる。

（遠的）ここでも前半は好調に滑り出したが後半は点が伸びず苦しくなり結局4位に終わる。

成年女子

（遠的）から始まる。どうやら予選のスケジュールの為、初のゲームも調整が難しいようだが、本県勢もエンジン全開でいきます。67点、5位に終わる。

しかし結果をみると、他県の得点が伸びているので（特に茨城）、あと5点あれば4位に浮上していたはず。惜しかった。なお、総一重、ガンバレ。

成年女子

（遠的）から始まる。どうやら予選のスケジュールの為、初のゲームも調整が難しいようだが、本県勢もエンジン全開でいきます。67点、5位に終わる。

（近的）練習中での実績からみて、近的での逆転も夢ではないと、祈り切って射場に入る。逆手の表情にも並々ならぬ決意のうかがえて、「若いやつの期待をもたせたい」——結局は中ぶりで3位。代表権は獲得ならず。

11中同点の射詰め競射5～6位決定戦でミスが続くかと思えて決まるという、まさかの勝負となる。その結果、神奈川が5位となって総合3位に浮上。まずまずの成績で少年男子に負ける。

次々と逆い抜かれ、同中競射でも敗れて順位は5位に落ちる。しかしこの中で大人顔の3中（皆中）が光った。

（遠的）ここでは1位以内に入れば総合の前前前進だったが——

近的でのミスがたたり、おしくも前進ならず。

66点、2位となって予定休。

しかし結果をみると、他県の得点が伸びているので（特に茨城）、あと5点あれば4位に浮上していたはず。惜しかった。なお、総一重、ガンバレ。

少年男子詳報

（12/18）

部県名	立順	選手名	近的 的中数 1	2	3	4	5	6	7	8	計	競射	部県 順位	得点	遠的 得点数 1回	2回	計	的中数	競射	部県 順位	得点	合計 近+遠	競射	順位
栃木県	1	永島輝志	×	○	○	×	○	○	×	○	6				1 7 5 0 7 1 7 1 0		28	6						
	2	坂入晴旗	○	○	○	×	○	○	○	○	6				0 7 7 0 0 7 1 1 0		22	4						
	3	山村晃一	○	○	○	○	×	○	○	×	6				5 3 7 5 3 1 1 9 3		36	8						
		計									18	5	4				86	16	2	7		11		4
神奈川県	1	瀧元康弘	×	○	×	○	○	○	○	×	6				9 5 0 5 3 5 0 7		34	6						
	2	和泉智也	○	×	×	3	○	×	○	○	3				0 1 0 0 3 5 3 3		15	5						
	3	上田謙佑	○	○	○	×	○	×	○	○	6				9 3 1 1 3 3 7 5		32	8						
		計									14	7	2				81	19	4	5		7		6
群馬県	1	大澤尚人	○	○	○	○	○	○	○	○	8				0 0 0 1 1 7 1 0		16	4						
	2	小板模弘	○	×	○	○	○	○	○	×	7				1 7 0 3 1 1 0 3 0		16	5						
	3	小林大介	○	×	○	○	○	×	○	×	6				5 3 0 5 0 1 3 0		17	5						
		計									21	3	6				49	14	8	1		7		5
茨城県	1	芳賀敏行	○	○	○	○	○	○	×	○	7	○○○			3 7 1 3 7 3 0 3		27	7						
	2	関東直樹	○	○	○	○	○	○	○	○	8	○○○			0 5 0 3 3 5 7 1		21	8						
	3	袖山英智	○	○	○	○	×	○	×	○	7	○×○			1 0 3 3 5 7 5 0		24	6						
		計									22	8	1				72	16	5	4		12		3
東京都	1	鳴田智也	○	×	×	○	○	○	○	×	6				0 1 0 5 3 1 1 1 5		16	6						
	2	篠原昭博	○	○	○	○	○	○	○	○	8				3 7 7 0 3 1 1 0 1		25	6						
	3	滝谷幸雄	○	×	×	○	×	×	×	×	3				7 1 7 5 0 7 1 0		28	6						
		計									15	6	3				69	17	6	3		6		7
山梨県	1	渡辺幸太	○	○	○	○	○	○	○	×	7				9 7 9 7 0 0 7 3		42	6						
	2	上條剛央	○	×	○	○	○	○	○	×	7				5 5 3 7 3 7 3 5		38	8						
	3	羽田雅高	○	×	○	×	○	×	○	×	6				5 0 5 3 0 1 3 1		18	6						
		計									20	4	5				98	20	1	8		13		1
千葉県	1	伊倉歩	×	×	○	○	×	×	○	×	4				7 3 3 3 3 0 5 5		29	7						
	2	阿部剛士	○	×	○	×	○	×	○	×	5				3 7 0 3 1 1 0 3		17	5						
	3	清水隆之	×	×	○	×	×	×	○	×	4				0 0 0 1 1 0 1 3		6	4						
		計									13	4	8				52	16	7	2		3		8
埼玉県	1	中野貴之	○	○	○	○	○	○	○	○	8	○○○			0 7 3 3 9 7 1 3		33	7						
	2	柏又晃	○	○	×	○	○	○	○	×	7	○×○			1 1 0 5 5 1 5 0		18	6						
	3	大井瑠	○	○	○	○	○	×	○	×	7	○×○			3 1 5 7 3 3 1 9		32	8						
		計									22	7	2				83	21	3	6		13		2

代表都県名	山梨県	埼玉県

紙一重ではあるが、こちらは一抹の寂寞感はぬぐえない。

「的中ノ本命の座に浴く」というジンクスも今年も破れてしまった。

二ノ矢から

総括、二ノ矢の富山国体には成年男子と少年男子の2種目が出場することになった。これまでの実績からみて両方とも入賞可能圏内にいるとみる。あとは日頃の調子の波をうまく作って少年、成年女子の分まで頑張ってほしい。

大会運営

4月に競技役員、神奈川の編成に着手し、その後、競技運営の準備段階を重ねること実に、幾度か会合を持ち、大会、競技会は、いささかのよどみもなく、スムーズに進行して、無事に全日程が終了。「御苦労様でした」

審判員として各県から派遣されてきた人たちは、それぞれ各地連の会長や副会長で、こういう大会の運営経験者ばかり。それに、次種地、群馬と、各種ごとに素晴らしい視察員を派遣してくれたが、それらの人たちの批評もいただけたのかどうか——。

ノ非情に手際が良い、すべての流れがスムーズに、スムーズに流れている。

みごとなまでの動きに感心させられる。次種地では是非参考にしたい。

3、すべての部署で、大きな人が動いている。（止まったり休んだりしていない。）しかも笑顔すく動いている。皆さきそいでいた。

競技役員の表彰の制度も必要ではないだろうか。

多くの社会的備品的寄附もされてるにせよ、ボランティアの本音を聞こえました。

加盟団体の評価は、山都の評価はおおいに高められたと、私をよくしています。

さて当県はさまざまでした。皆さんの努力の賜物です。

「練習の様には必ず会場のりん」といいますが、いいことも悪いことも、いつまでもいいことがあるでしょう。

競技役員名簿

競技委員長　安藤秀保

〃副委員長　遠藤恒一　坂本政英

幹事長　遠藤恒一

〃　（遠）　河西伊三男

〃　（遠）　遠藤恒一　藤本秀朗（兼遠的）

遠的進行係　深沢　誠　山尾幸治

〃　（遠）　古屋治子

〃　（遠）　堀口秀樹

〃　（遠）　市川　巌

〃　（遠）　清水信夫

〃　（遠）　大野栄治

〃　（遠）　小林　弘

〃　（遠）　古屋　序

〃　（遠）　古屋　昭子

〃　（遠）　古屋　文子

〃　（遠）　古屋　序

〃　（遠）　古屋　序

〃　（遠）　古屋　序